

「命の博物館」 動物園の役割

動物園にはそこでしか会えない動物たちがいます。かわいい動物、かっこいい動物、めずらしい動物。そんな動物たちと出会うと、楽しくてワクワクしますね。

けれど、動物園は「動物を見せるためだけの場所」ではありません。そのほかにも、研究や保護といった大切な役割があります。

そして、動物園は「命の大切さ」を学ぶことができる、命の博物館でもあるのです。

●数が少なくなった動物を守る、数を増やす



たとえば、動物園でも人気が高いパンダやライオンは、いろいろな理由によって数がとても少なくなっています。そのほかにも、このまま放っておけばいつか絶滅してしまふ恐れがある動物がたくさんいます。

絶滅とは地球上からその動物が一頭もいなくなってしまうことです。一度、絶滅したらその動物は二度とよみがえりません。

動物園では、このように数が少なくなった動物を守り、数を増やすために動物が赤ちゃんを産み、成長できるようにお手伝いをしています。

●動物の研究をしている

動物は地球上のいろんな場所にくらしています。ですから、動物ごとに生きている環境がまるで違います。もちろん、食べるもの、生活のようす、子育ての方法もさまざまです。

それぞれの動物について調査、研究することで、動物が絶滅しないために何をすべきなのかが分かります。

また、生まれたばかりの子どものようなようすや体重の変化などは、自然の中ではなかなか調べられませんが、動物園であればそうした調査もできるのです。



生後1日目と、14日目のオオワシのヒナ(円山動物園)。
オオワシは絶滅のおそれがある



シマフクロウの体の測定や健康管理をしているところ(円山動物園)

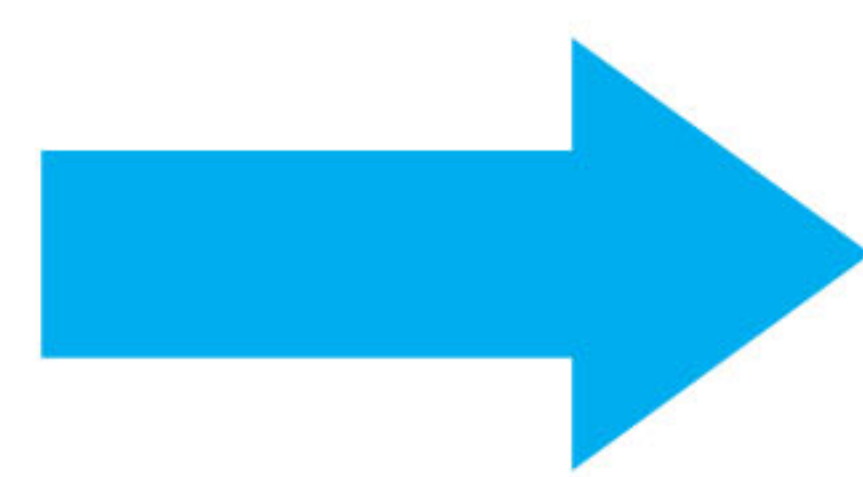
●動物のこと、環境のことを学べる場所

気候変動、地球の温暖化、環境破壊など、さまざまな理由で野生動物たちの数がへつていきます。動物園ではそうしたことをわかりやすく学べるように、いろいろな工夫をしています。

また、動物園に行けば動物のにおい、鳴き声、息づかいなどから、「動物も命ある大切な存在なんだ」と感じられます。

動物がいいきい！ 動物福祉(アニマルウェルフェア)

進化する動物園



広々とした
サル山
(円山動物園)

動物園にいる動物たちは「展示動物」といいます。展示とは、いろいろな人に見てもらうという意味です。

ひとむかし前、動物園の動物たちはせまいおりの中でくらしていました。けれど今、動物園はどんどん変わっています。

たとえば、動物たちが過ごす場所に川が流れていたり、植物が生えていたり、自由に動き回れる広い場所があったり……。それらは、動物たちがもともとくらしていた環境に近づけようとしているのです。

このような飼育や展示のしかたのもとになっているのが、「動物福祉」という考え方です。

動物福祉ってなんだろう？

動物福祉とは、動物のストレスができるだけ少なく、幸せを感じられるようにしてあげることです。

ただ、人間が勝手に「こうしてやればいだろう」と決めるものではありません。いろいろな調査データをもとにして、「動物のストレスをへらすには?」「どうすれば健康でいられるのか?」を科学的に知り、「動物の立場になって」環境を整えます。

動物福祉の考え方は、1960年代にイギリスで生まれました。英語では、アニマルウェルフェア (Animal Welfare) といいます。

科学的な証拠
をもとにして、
動物の立場に
なって考えます



動物の幸せのために大切な5つのこと

①**栄養** 健康でいるために、その動物にとって必要な栄養を十分に与え、きれいな水をいつでも飲めるようにします。



食事中的のウシャガメ (円山動物園)

②**健康** 病気やケガがないようにします。飼育員はいつも動物が健康かどうかを、注意深くチェックしています。



アジアゾウの世話をする飼育員
(円山動物園)

③**環境** その動物に合った明るさや温度にします。自由に動ける空間や、変化に富んだ環境をととのえます。



山岳地帯に住むユキヒョウの展示場には、登れる木や高い岩場が作られている (円山動物園)

④**行動** その動物本来の行動ができること。動物が行動をえらべるようにします。また、しっかり休め、安心して出産や子育てができる環境をととのえます。



動物が安心して子育てできるように、展示を休むこともある。ボルネオオランウータン (円山動物園)

⑤**精神** 栄養、健康、環境、行動が良い状態にあると、動物たちは安心して気持ちよく過ごすことができます。また、元気がわいてきます。つまり、動物たちにとって幸せを感じられるようになるのです。



元気に暮らしているアジアゾウの親子 (円山動物園)

野生動物がどんどん消えていく ～動物と環境問題～

動物園は動物と会える楽しい場所です。そして、動物を取り巻く環境について学ぶ場でもあります。

いま人間の便利な生活によって環境がこわされ、動物たちが苦しんでいます。
どんなことが起きているのか見てみましょう。

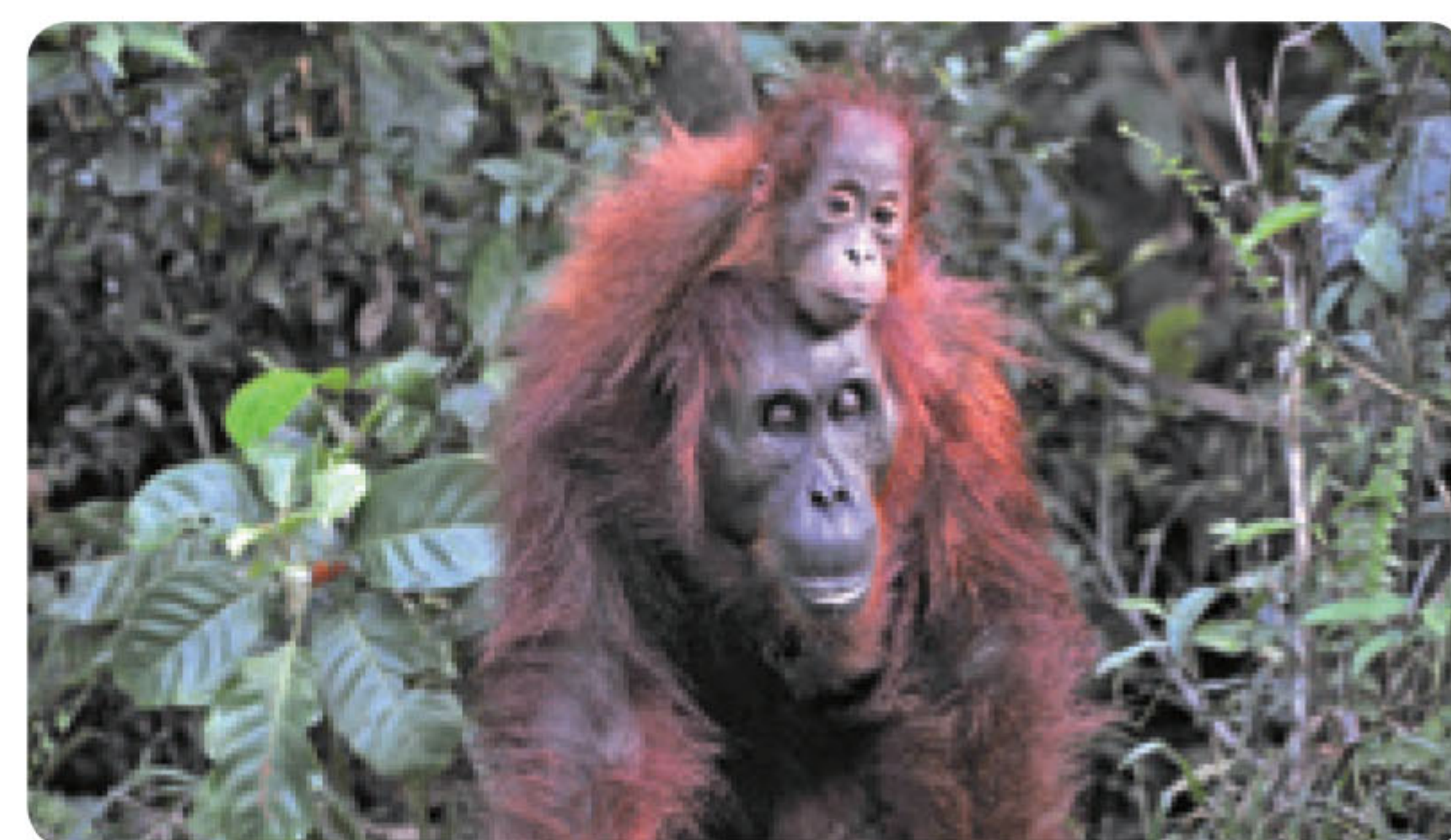
森林破壊

森は野生動物たちの生活の場です。しかし、人間は森林を伐採して家や紙などの材料にします。また、森を切り開き、道路や町を作ったり、畑に変えています。

それによって、野生動物の食べ物やすむ場所がなくなり、どんどん数がへっているのです。



左上の写真は、アブラヤシを植えるために切り開かれた森林で、真ん中はアブラヤシの実です。アブラヤシから採れるパーム油は世界で最も多く使われている植物油で、パンやスナック菓子、洗剤やシャンプーにも入っています。



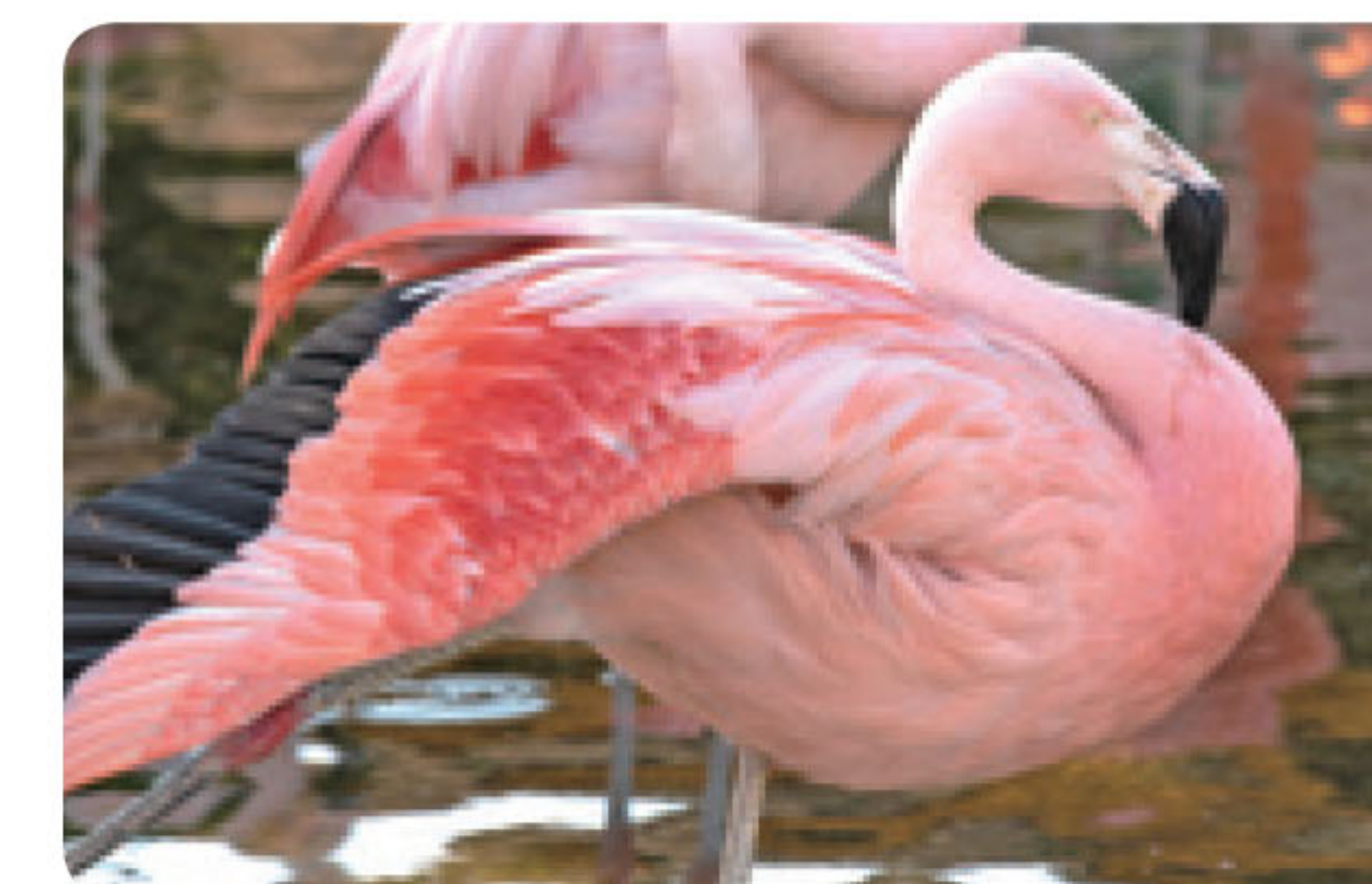
被害にあう動物たち。ジャガー（左）オランウータン（右）

環境汚染

家庭や工場から出る排水、乗り物や工場から出る煙は、川や海や空気を汚します。
また、大量のプラスチックごみが海に流れ込み、サンゴをはじめとする海の生き物たちが姿を消しています。水とともに生きる動物などが苦しめられているのです。



被害にあう動物たち。オオサンショウウオ



フラミンゴ



ウミガメ

地球温暖化

今の地球は、過去 1300 年の間で最も気温が高くなっています。その大きな原因は、人間が出している二酸化炭素だと言われています。

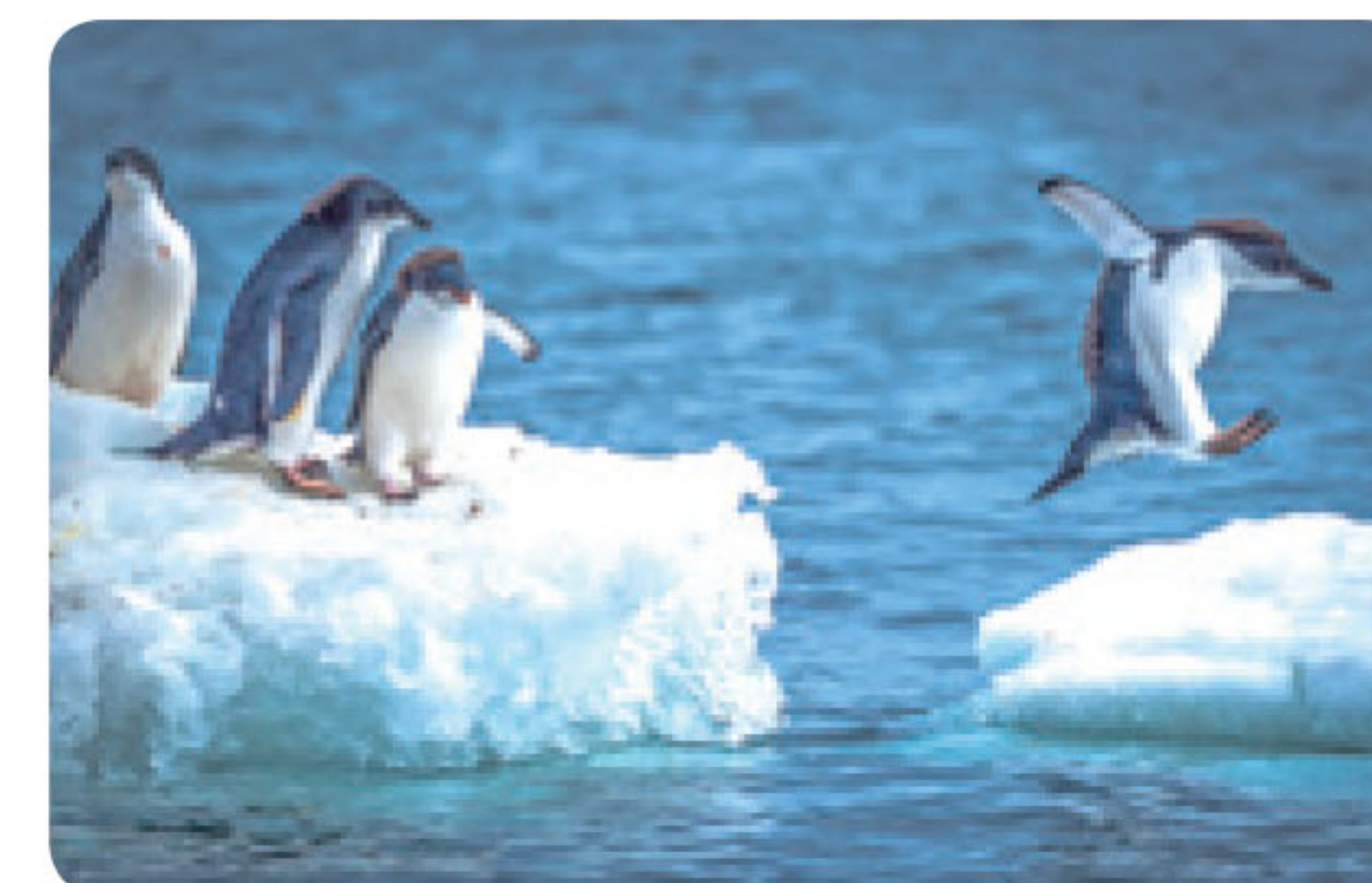
地球の温度が上がることで、北極や南極の氷がとけたり、世界のあちこちで干ばつ（雨が降らず水不足になること）が起きているのです。



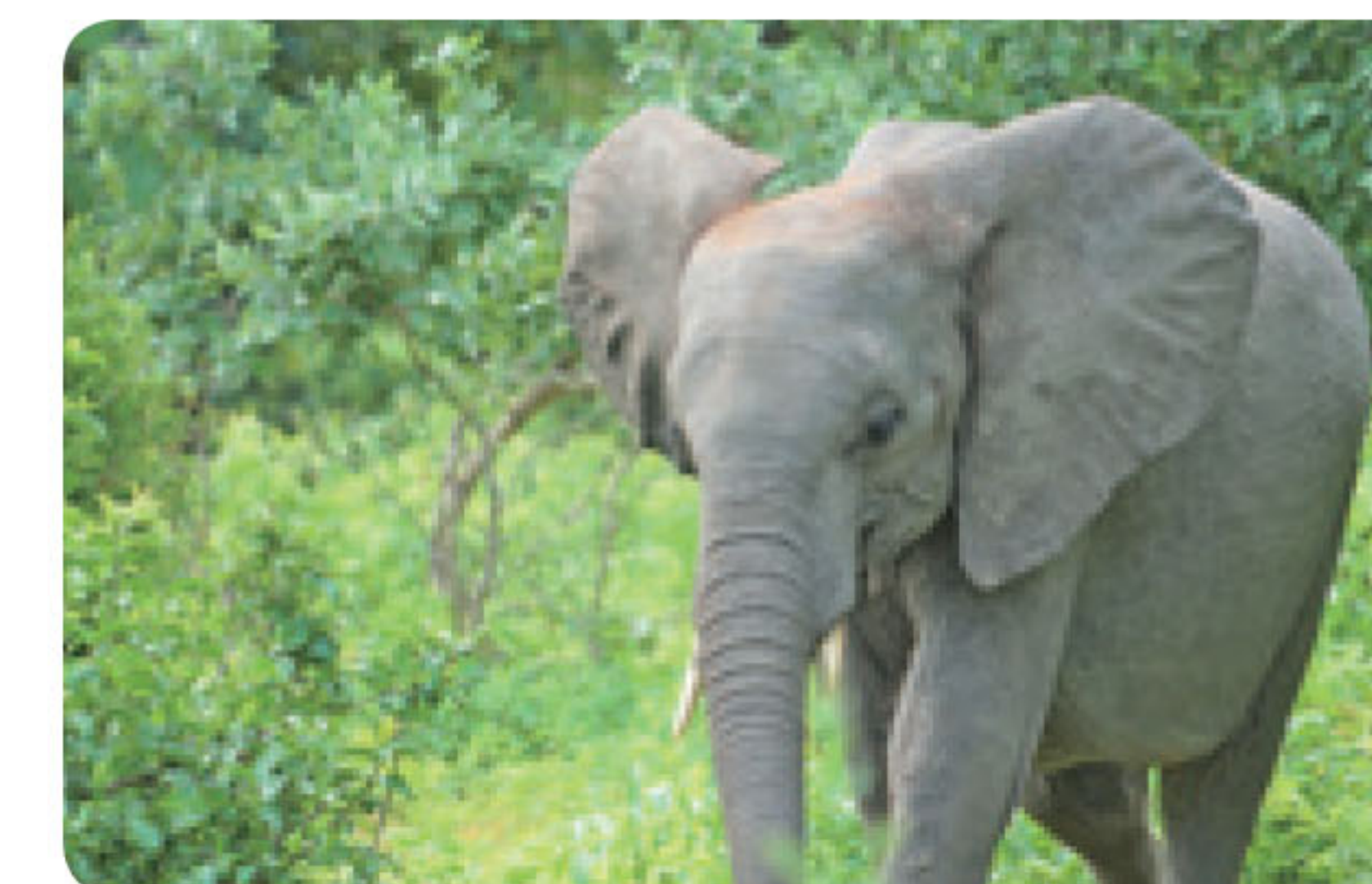
グリーンランドの氷山の崩落



干上がって
ひび割れた川



被害にあう動物たち。ペンギン



アフリカゾウ



シマウマ

世界では約 4 万 1459 種の動物が絶滅の危機にさらされています。そのほとんどの原因を作っているのは人間です。

動物の絶滅を少しでも食い止めるには、私たち一人一人が「自分に何ができるのか」を考え、行動していかなければならないのです。✳ 2022 年 7 月、国際自然保護連合（IUCN）の発表より